



2019年11月11日

各位

上場会社名 MUTOH ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 早川 信正  
 (コード番号 7999)  
 問合せ先責任者 経営管理部 担当部長 福富 弘悦  
 (TEL 03-6758-7100)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

## ● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,600	30	35	△ 70	△ 15.38
今回修正予想(B)	8,293	△ 65	△ 62	△ 111	△ 24.46
増減額(B - A)	△ 1,307	△ 95	△ 97	△ 41	
増減率(%)	△ 13.6	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	9,561	101	149	205	45.07

## 修正の理由

当社を取り巻く経営環境は、為替レートがユーロを中心に円高傾向で推移しているとともに、米中貿易摩擦の影響で米国、中国をはじめ欧州でも投資の停滞の影響が予想以上に拡大しています。このような状況の中、当第2四半期累計期間の連結業績は、大判インクジェットプリンター新製品XpertJetシリーズの全世界導入を順次展開し販売の底上げを図るとともに、収益力向上に取り組んでまいりましたが、前回予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

売上高については、国内販売は増収基調で推移しておりますが海外販売の減少により、前回予想を下回る見込みとなりました。

営業利益および経常利益については、原価率の改善、物流コストや製品補修費などの費用削減により、収益力は確実に向上しておりますが、販売減による粗利の減少により、前回予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益においては、税金費用の計上額が減少いたしました。経常利益の減少の影響により、前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦および我が国を取り巻く政治・経済情勢など不安定な要素が多く、現時点では前回予想値を据え置いております。今後、業績動向等により修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上